

以下の詩は、札幌市議会で意見陳述された矢口以文（詩人、北星学園大名誉教授）さんが議場で朗読された自作の詩です。「基地の町」は自身の体験をもとにしたもので、「前島」は沖縄です。2編は対になっており、聴衆に感銘を与えました。

事務局から

基地の町

僕らの町に海軍航空隊の基地があったから
戦争中は若い日本兵でにぎわった
しかし戦況が悪くなったとき
ほとんど毎日敵機に襲われた

突然 空の高みに砂粒ほどの敵機の群れが現れ
見る見る飛行機の形になり
急降下してドガードガンと
基地に爆弾を降らせた

爆弾は基地の外にも降って
野原や畑にトラックが入るほどの穴を開けた
機銃掃射の驟雨が時々
民家にも襲いかかった

しかし日本の飛行機は一機も飛び立たなかった
防空壕と格納庫につづくままだった
敵機が去った後で高射砲が
パパーンパパーンと大空に豆を数個炒り上げた

実は兵たちは少し離れた山にこっそり避難し
僕らの町と
ほとんど無人になった自分たちの基地が
攻撃されるのを隠れて眺めていたのだ

そして敗戦が分かった時 彼らは基地に戻って
絹の落下傘 ゴムボート 靴 毛布 米 缶詰な
などを倉庫から盗んで隠蔽し やがて
それらを秘かに背負って家に帰っていった

前島

前島は攻撃を受けなかった
日本軍がいなかったから
日本軍の基地がなかったから
米軍の攻撃がなかった

日本軍が駐留しようとしてきた時
分校の校長が必死に断ったのだ
やがて米軍がやってきたが
日本軍がいなかったのだから 戦いはなかった

日本軍が抵抗した島には
日本軍の基地があった島にはどこにでも
怒涛の米軍が押し寄せてきた
銃砲火の嵐が荒れ狂った

前島の人たちは見ていた
咲き乱れる花々の中で
波間に浮かぶ近隣の島々が攻撃に
さらされるのを 泣きながら見守っていた

あなたも全国ネット会員に!

全国に運動の広がりをつくる為に、ご協力
をお願いします!! 年額 2000円
「会報」を送らせていただきます。

郵便振替 口座番号 00990 - 6 - 0203555

「無防備地域宣言」

銀行振込み 三井住友城東支店 普通

口座番号 1414208

「無防備地域宣言 榊田」

全国の最新情報が、発信されます。

メーリング・リストに御参加下さい

手続き

全国ネットのメールアドレス
(peace@cside.to)に、簡単な自己紹介を添
えてメールを送って下さい。

メールを受け取りしだい登録手続きを行
い手続き完了のメールを返信いたします。

(編集後記)

福田首相は、日米首脳会談で新テロ特措法成立を約束し、国会再延長、衆議院再議決を狙っている。オーストラリア下院選挙ではイラクからの戦闘部隊の撤退を公約した労働党が勝利した。イラクからの撤退は決定的な世界の流れだ。世界でも突出したイラク自衛隊派兵継続を断ち切る。テロ特措法案を廃案に!

札幌市無防備運動は、条例案は否決されたものの、運動の発展を確かにつくった。その成果を引き継ぎ、来年1月小田原市、春季尼崎市、川崎市と続く無防備直接請求を成功させ、条例を実現しよう!

